

## 第4回会下山遺跡・城山遺跡調査委員会

平成21年9月11日(金)14時～17時  
芦屋市三条分室会議室 会下山遺跡

開会 芦屋市教育長 藤原周三挨拶  
文化庁記念物課 主任文化財調査官 瀬田佳男氏挨拶

### 1 平成21年度会下山遺跡範囲確認について調査状況の報告及び評価

- (1) 調査状況の概要説明（資料①）
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- (2) 会下山遺跡現地確認
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- (3) 調査状況の評価及び今後の調査方針

### 2 国史跡に向けて今後の方向性

- (1) 取り組みの現状
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- (2) 史跡範囲の方向性（資料②）

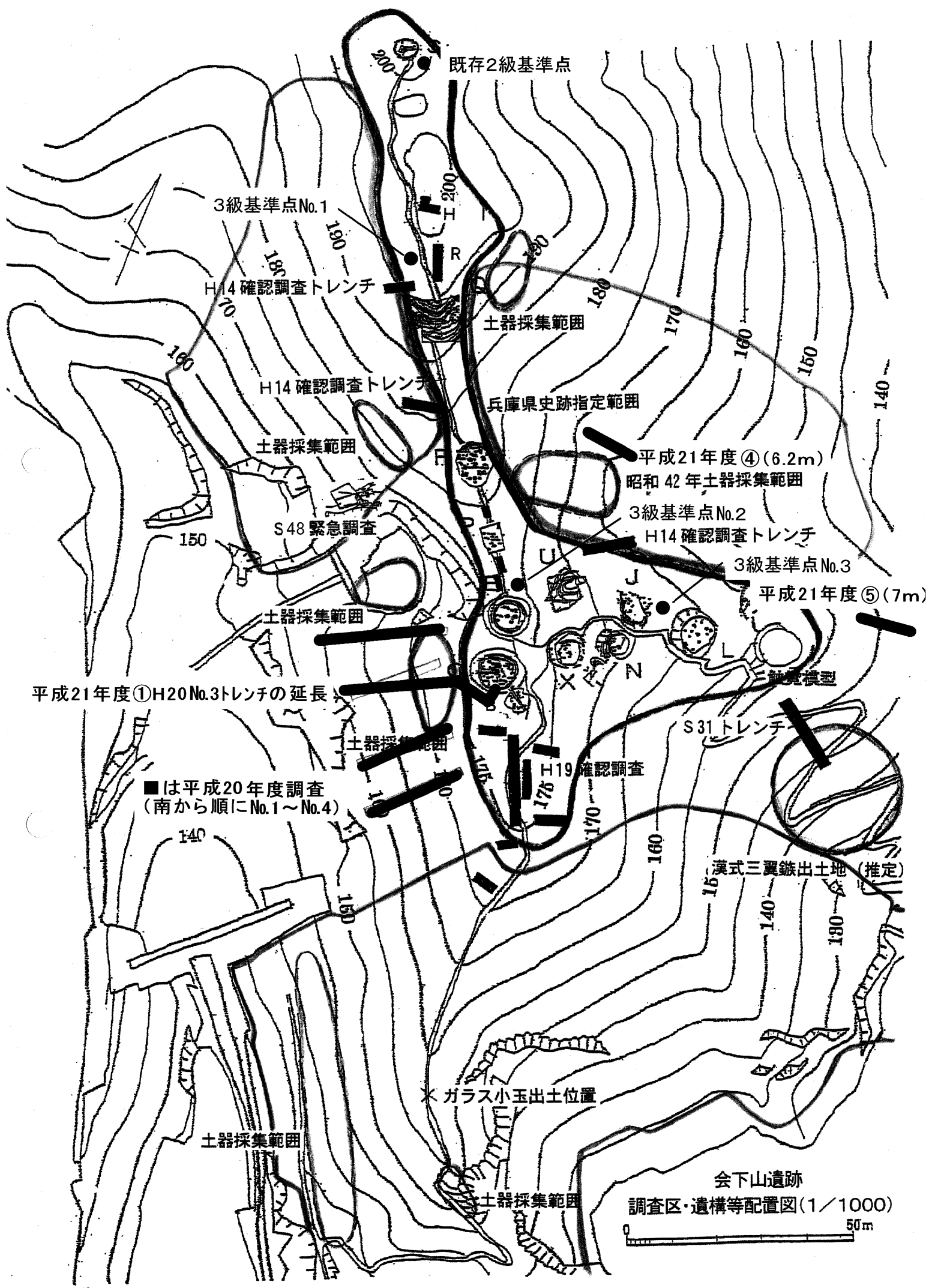
### 3 その他

- (1) 今後の日程等について

会下山遺跡範囲確認調査結果(第3次)一覧表

調査期間  
平成21年8月31日(月)～9月16日(水)

トレンチ 番号	設定位置	標高	法量			調査面積	ねらい	調査所見		
			短辺	長辺	深さ			遺構	遺物	
1	尾根上、西斜 面 (1)第2次調 査3tr.拡張お よび (2)C地区住 居範囲内再確 認	約175m	1.0m	2.5m	0.45m	2.5㎡	第2次調査で検出したC地区 住居址南縁部の段状遺構の 方向・形状とその性格を掴 む。併せ、C地区遺構面の検 証。  県史跡北限付近の鞍部地形 にみられる掘割状のくぼみの 性格を見極める。  S地区の北方やせ尾根上の 鞍部地形に掘割状の遺構を 確かめるため設定。  過去の集中豪雨の土砂崩れ の際、遺物が多量に出土した 谷奥部の平坦面で遺構・流出 包含層の存否を確認するた め。  触覚模型より東方15m、高低 差10mの東斜面の緩斜地の 様相を把握。遺構の存否を確 認。  尾根裾部の比較的緩斜面を 選択、新出の遺構を想定し、 その存否を確かめるとも に、遺物の包含量を確かめ る。	段状遺構の連続は不鮮明。別に土 器を含む土坑状の遺構がセクショ ンにかかる。  C地区住居の床および壁溝を検 出。堅穴立ち上がりを精査中。	第Ⅲ・Ⅳ様式 第Ⅴ様式 ( )片 %  第Ⅲ・Ⅳ様式 第Ⅴ様式 ( )片 %	調査中  調査中
			0.3m	2.4m	0.25m	0.72㎡		全くなし。		
2	S地区 北方	約200m	1.0m	8.0m	1.4m	8.0㎡	全くなし。	全くなし。	全くなし。	
3	S地区 北方	約198m	1.0m	5.0m	1.6m	5.0㎡	全くなし。	全くなし。	全くなし。	
4	F地区 東斜面	約155m	1.0m	6.2m	1.3m	6.2㎡	今回設定したトレンチの中では、最 も安定した堆積を示している。下部 暗色シルトに土器を含み、ベース に平坦面を伴う土坑状遺構検出 (幅200cm、深さ30cm)。中期の土器 を含む特徴が認められる。  土壌層を入れて4層に細別するも、 基本的には古生層系の礫の大小、 含み具合による。遺構は検討要。	第Ⅲ・Ⅳ様式 15% 第Ⅴ様式 85% 後期優勢 小袋3袋分(1層27片、遺構内54片)。 片、深部下層35片、遺構内54片)。 生駒西麓産土器有り。 遺構出土資料は、Ⅳ様式中心。		
5	東尾根 斜面	約150m	1.0m	7.0m	1.2m	7.0㎡	尾根裾部の比較的緩斜面を 選択、新出の遺構を想定し、 その存否を確かめるとも に、遺物の包含量を確かめ る。	第Ⅲ・Ⅳ様式 20% 第Ⅴ様式 80% 後期優勢 小袋3袋分(115片)。 東部瀬戸内系土器有り。		
6	東尾根 南東斜面	約145m	1.0m	9.6m	1.15m	9.6㎡	尾根裾部の比較的緩斜面を 選択、新出の遺構を想定し、 その存否を確かめるとも に、遺物の包含量を確かめ る。	第Ⅲ・Ⅳ様式 30% 第Ⅴ様式 70% 後期優勢 小袋4袋分(1層4片、黄色砂礫層37 片)。 生駒西麓産土器有り。		



既存2級基準点

3級基準点No.1

H14 確認調査トレンチ

土器採集範囲

H14 確認調査トレンチ

兵庫県史跡指定範囲

土器採集範囲

平成21年度④(6.2m)  
昭和42年土器採集範囲

S48 緊急調査

3級基準点No.2

H14 確認調査トレンチ

3級基準点No.3

平成21年度⑤(7m)

土器採集範囲

平成21年度①H20No.3トレンチの延長

土器採集範囲

H19 確認調査

S31 トレンチ

■は平成20年度調査  
(南から順にNo.1~No.4)

漢式三翼鉄出土地 (推定)

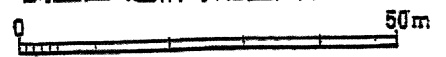
\* ガラス小玉出土位置

土器採集範囲

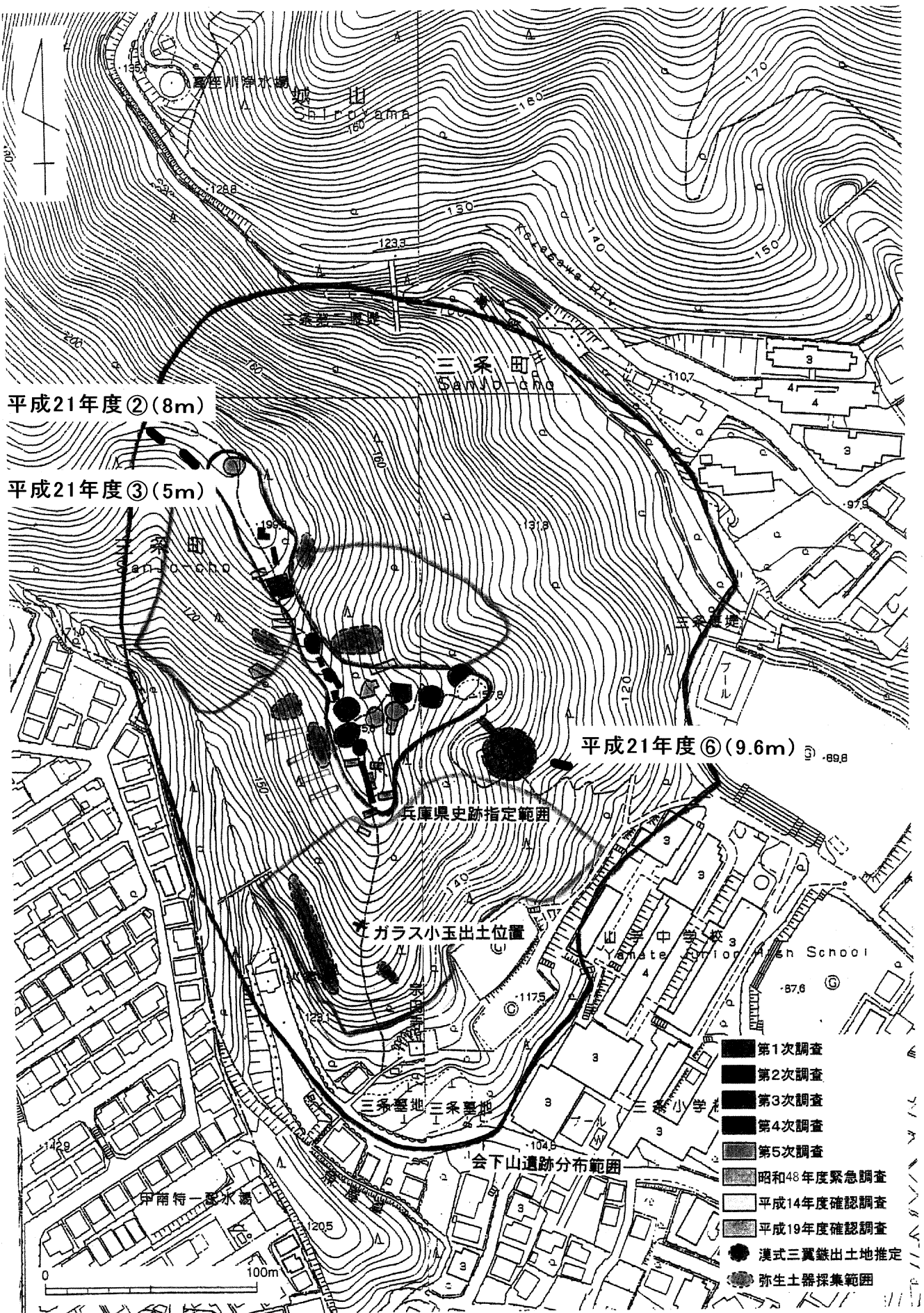
土器採集範囲

会下山遺跡

調査区・遺構等配置図(1/1000)



——は、兵庫県史跡指定範囲（山頂部）及び会下山遺跡分布範囲      ——は砂防用鉄筋+ワイヤー



平成21年度②(8m)

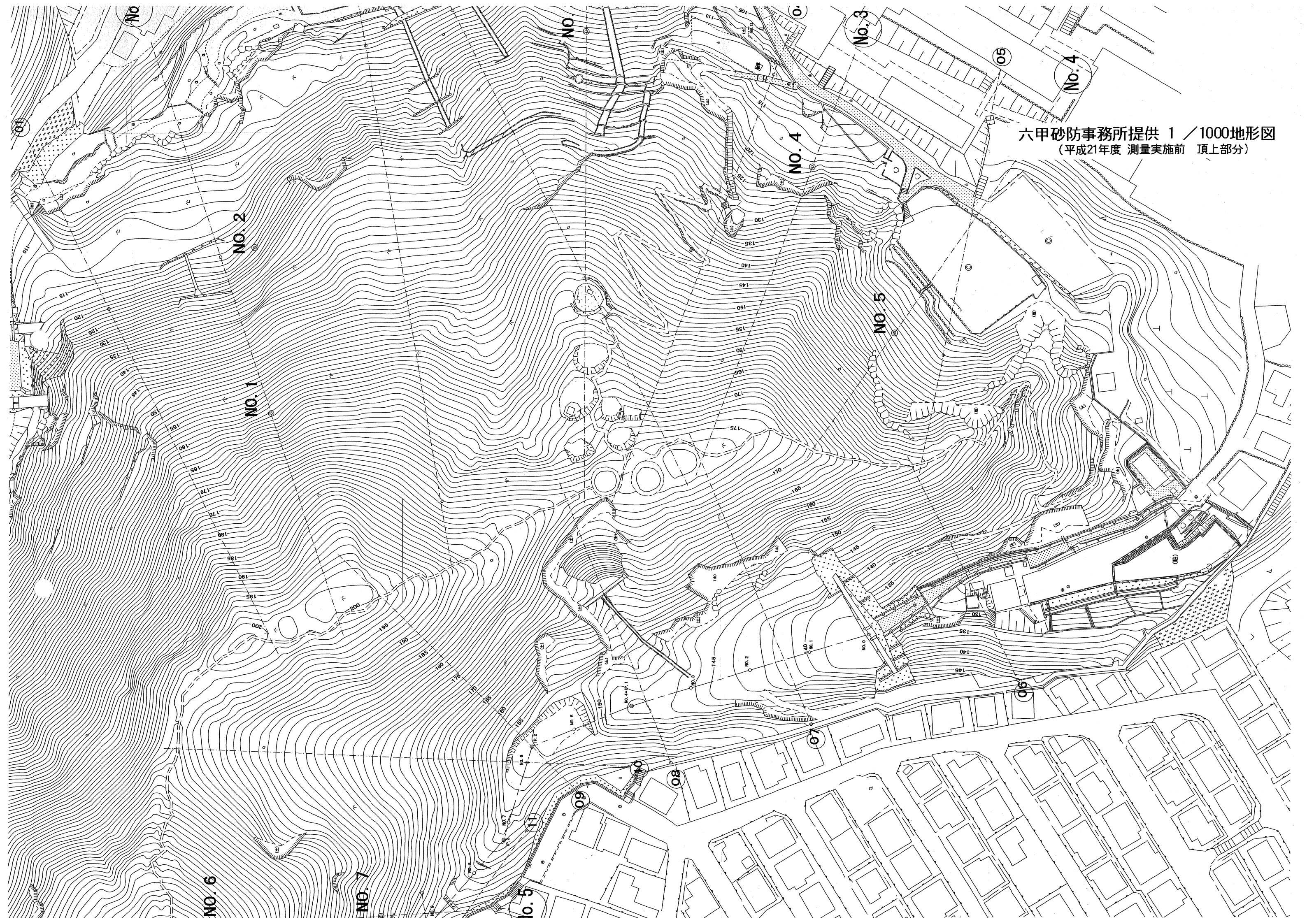
平成21年度③(5m)

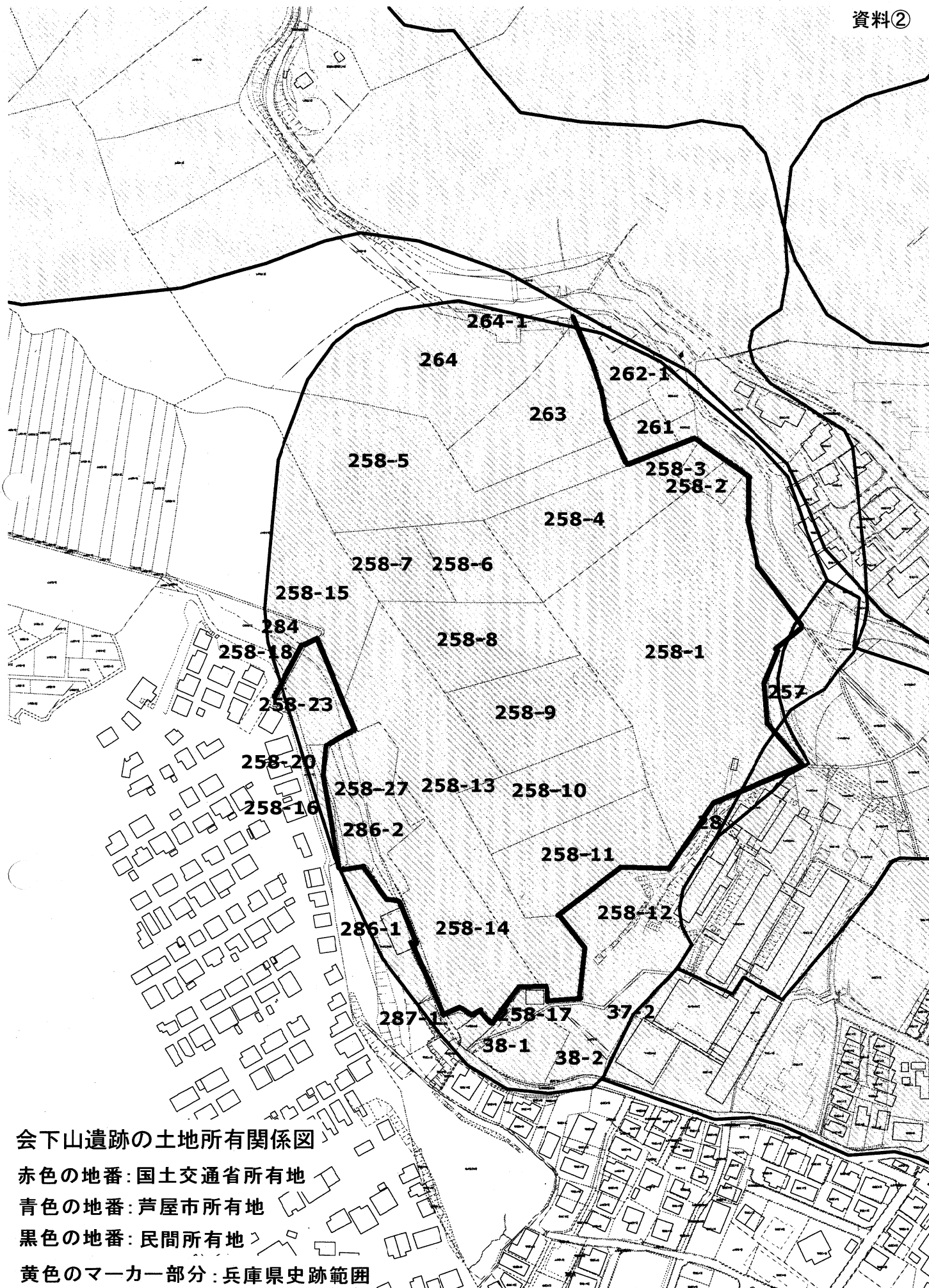
平成21年度⑥(9.6m)

会下山遺跡の既往調査等(1/2500)



六甲砂防事務所提供 1/1000地形図  
(平成21年度 測量実施前 頂上部分)





会下山遺跡の土地所有関係図

赤色の地番: 国土交通省所有地

青色の地番: 芦屋市所有地

黒色の地番: 民間所有地

黄色のマーカ一部分: 兵庫県史跡範囲